



【特別支援学校のセンター的機能】

～しろがね特別支援学校による地域支援～

特別支援学校のセンター的機能として、専門アドバイザーが中心となり、前橋市、渋川市、吉岡町、榛東村、玉村町の小・中学校や高等学校、幼稚園・認定こども園・保育園からの依頼を受けて、訪問し、発達の気になる子ども達についての継続的な支援を行っています。

専門アドバイザーの仕事を紹介します



小学校の通常学級に在籍する2年生の児童（A君）の担任からの相談がありました。

相談内容は2点あり、音読が上手にできないことと課題に取り組むまでに時間がかかるとのことでした。

国語の時間を観察すると、視線が文字を追っていないにもかかわらず、集団での音読ができています。そこで、休み時間に未学習の文章を読んでもらいました。すると、「おそろしい まぐろ」を「おそろし いまぐろ」と全く意味の分からない読み方をしていました。

また、掃除の場面でも、教師が当番表の見方を説明した時に、例として、「教室のほうき当番は〇〇君」と話をしたところ、A君はトイレ掃除にもかかわらず、教室のほうきを手に持っていました。

以上の観察から、文章の空白のところで読みを区切るということが理解できないことや当番表の見方がわからないことが読み取れました。相談内容である、課題に取り組むまでに時間がかかるというのは、初めての課題では内容を見ただけで理解できないというA君の困り感に要因があることが分かりました。

そこで、担任の先生には文章の空白の所にスリット (/) を入れてもらい、スリットのところで読みを区切ることを教えてもらいました。その後、A君自身がスリットを入れられるようになり、A君の方から、「文字が空いているところを切ればいいから、もう、線を引かなくても大丈夫」と発

言がありました。

さらに、図や表をもとに説明する場合には、見て判断することの弱いA君に練習問題を1問解かせて、教師が理解度をチェックしてもらうことにしました。

すると、A君は集団の行動から外れることもなくなりました。

このように、困難が周りからは見えづらいお子さんもいるので、教師の気づきが大切ですね。

校内研修等での講演会の予定

6月11日	「ケース会議」	茨川市内中学校
6月17日	「自閉症スペクトラム児の指導について」	前橋市内小学校
6月24日	「通常学級に在籍する気になる子への指導・支援について」	茨川市内小学校
9月 3日	演題未定	前橋市保育士会
11月21日	演題未定	茨川市内小学校

相談依頼の件数（外部支援）4～5月の結果

対象	幼稚園 保育園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
件数	40件	39件	5件	0件	0件	84件

（その他は関係機関からの相談および研修の講師依頼）

日頃から、本校のセンター的機能の御理解と御協力をありがとうございます。障害の有無にかかわらず、子どもの実態把握・指導内容・指導方法について悩んでいることがありましたら、お気軽に御相談ください。お待ちしております。



群馬県立しrogane特別支援学校
担当：専門アドバイザー 尾岸 純子
電話：027-268-6111
FAX：027-268-6113
メール：shirogane-snes01@edu-g.gsn.ed.jp